

第二十一回 高校生小論文コンクール

主催 公益財団法人生涯学習振興財団
共催 読売新聞西部本社

優秀作品の紹介

個人部門

● 冲永 荘一 博士記念大賞（最優秀賞）

「夢への道」

山形県立米沢興譲館高等学校 一年

佐藤 詩央里さん

● 優秀賞

「風に立つ大志」

独立行政法人 国立高等専門学校機構

北九州工業高等専門学校 二年

生駒 凱意さん

● 読売新聞西部本社賞

「『優』という字の意味」

学校法人 鎌倉女学院

鎌倉女学院高等学校 一年

吉田 理香さん

グループ部門

● 最優秀賞

「出雲発!!『マイクロプラスチック

問題についての考察』」

学校法人 永島学園 出雲西高等学校 二年

小畑 凜久さん 飯島 章太さん

片寄 虹乃 葉さん 榎原 美咲さん

高橋 乃愛さん

● 優秀賞

「人間という複雑な存在

～ AI と人間の間～」

鹿児島県立 錦江湾高等学校 一年

瀬戸山 翔さん 益 広太さん

畠中 智也さん 帖地 桃海さん

鶴崎 みゆきさん 堂園 栞生さん

● 読売新聞西部本社賞

「観光業から見た私たちの街の現状と今後」

福岡県立 三池高等学校 一年

柴田 晴輝さん 三浦 太暉さん

山下一 平さん 吉原 彩衣さん

原田 百華さん

以上6作品を優秀作品として紹介します

個人部門

沖永莊一博士記念大賞（最優秀賞）

山形県立米沢興譲館高等学校 一年

佐藤 詩央里さん

「夢への道」

私は将来、妊婦の心に寄り添うことができ
る助産師になり、海外で働きたいと考えてい
る。助産師は、私が小学生の時から夢であ
る。

私が二歳になってすぐの頃に弟が、五歳に
なった時に妹が生まれた。お産の時には両親
について病院に行き、母の病室で生まれるの
を待っていたことを憶えている。立ち会いは
できなかったが、出産というイベントを間近
で感じられた。これは私が助産師を志すよう
になったきっかけの一つだ。当時、私はまだ
幼かったが、病室のベッドの上で生後数日の
弟妹を抱っこさせてもらうことがとても楽し
みだった。

助産師という夢を持ち続けて高校生にな
り、小学生の時には知らなかったことも新た
に知った。例えば、誰もが無事に妊娠・出産
を経験できるわけではないことだ。妊
娠を望んでも子どもを授かることができない
人、流産してしまう人。産科は病院の中で唯
一人の命が誕生し、「おめでたい」場所とい
う印象だった。実際、小学生の頃の私はそん
な環境に憧れて助産師を志した。しかし、産
科で命を落としてしまう胎児も、妊婦も、確
かにいるのだ。

さらに、妊娠・出産に関する知識や技術の
不足から、海外には命を落としてしまう胎児
や妊婦がいることも知った。衝撃的だった。
日本とは比較できないほど高いリスクを伴う
のだ。自分が思い描いていた理想と、現実の

問題に大きなギャップを感じた。日本の高度
な医療技術をもつても救うことのできない命
と、知識や技術がないがために失われてしま
う命。それはどちらも同じ「命」であり、何
ひとつ違いはないはずなのだ。違和感を抱い
た私は、助産師として海外で働くことを志す
ようになった。

「助産師」とは何なのか、看護師である母
と祖母に話を聞いた。他にも図書館の本で調
べたり、インターネットを使ったりして助産
師について知り、考えた。助産師という職業
を知れば知るほど、私は今の世界の出産の環
境について深く考えるようになった。前述に
もある通り、助産師が担当するお産の全てが
上手くいくわけではないということ、発展途
上国と呼ばれる国の多くが、未だに出産のた
めの十分な環境が整えられていないこと、
妊産婦の出産前後や出産時のケア、妊婦のメ
ンタルケアが必要だということ。想像してい
た以上にできることが多い助産師という職業
に、それまで以上に魅力を感じた。「助産師
として私が海外で働くことで発展途上国の状
況を変えられるかもしれない」と、海外で働
くという新たな夢が加わった。

妊婦の心に寄り添うことができる助産師に
なるためには、まず人間の精神状態や心情に
ついて知らなければならぬ。そのために私
は、大学を出て助産師の国家資格を取得した
後、人の心理について学び心理カウンセラー
の資格を取得したいと考えている。お産前後
は妊婦の精神状態が不安定になりやすい時期
だ。そんなときに妊婦に寄り添うことで、一
生で数回しかできない出産という貴重な経験
を、大切にかけがえのないものにする手助け
ができればと思う。そして、海外で働くため
に必要な不可欠なのが語学力だ。どんなに人
の心理について学んでも、それを海外の現場で
活かさなければ意味はない。語学力は、短期
間で身につけられるものではない。語学は私
がこれから熱心に勉強していかなければなら

ないことの一つだ。

将来の夢を実現させるために私が今できることは、常に相手の気持ちを考えて積極的にコミュニケーションを取っていくことと、語学の勉強の二つだ。この二つは、私と大きな夢をつなぐ懸け橋になるだろう。また、日々進歩し続ける医学と向き合っていく以上、現状に満足せず、常により良いものを求めて最適解を考え、自ら道を拓いていく力を身につけていければと思う。

個人部門

優秀賞

独立行政法人 国立高等専門学校機構
北九州工業高等専門学校 二年

生駒 凱意さん

「風に立つ大志」

「僕は将来、航空機の開発をするエンジニアになりたいと思っています。」

忘れもしない受験期の一月、僕は推薦入試の面接で将来の夢を語った。もちろん今もその夢自体は変わらない。しかし、より具体性を増した確固たる夢が今の僕にはある。

小学生の頃、航空機マニアだった祖父や外国映画の影響を受け、僕の中で航空機はカッコいいものの象徴だった。それが、技術の詰まった創造の象徴となって憧憬の念を抱くようになったのは、国産初の旅客機YS-11の開発物語に感銘を受けてからである。戦後GHQから発令された航空禁止令をご存知だろうか。終戦から七年間、航空機製造の他、それに関する学問を教授することさえ禁じられた時代があったそうだ。その期間を含めた十数年間で、日本の航空技術は世界に遅れをとってしまったという。そんな中で、国産の旅客機をつくろうと計画が持ち上がり、開発が進められたのがYS-11である。僕は開発についての本をいくつか読み、技術者の魂に触れたような感覚になった。かつて戦争のための航空機を開発した技術者の、「人々のための良い旅客機を生み出す」という執念のよう努力をその時に知った。

先人が日本で切り開いた産業として、航空機製造が現代にどうやって受け継がれているのかにも興味が湧いた。社会科でも習うように、日本の重工業メーカーが海外の航空機

メーカー製品の一部を製造している他、純国産の輸送機や旅客機の開発を行っていた。日本で開発されているという事実はとても嬉しく、僕は希望が見えたと思った。しかし世界のシェアを見ても欧米の力は圧倒的だ。僕は日本での航空機産業をもっと栄えさせたいと思っている。最終的な目標は、航空機をより身近な乗り物にすることだ。海外に行くための交通手段として真っ先に浮かぶのは「飛行機」という選択肢だろう。LCCと呼ばれる価格の抑えられたチケットもあるが、やはり多くのお金がかかるのが事実だ。

そこで、少ないエネルギーで長い距離を飛行できる低燃費の航空機が開発されればどうだろうか。一度にもっと多くの乗客を運ぶことができればどうだろうか。自動操縦の幅が広がって、パイロットの負担が減ればどうなるだろうか。お金だけではない。もっと静かな航空機になれば都心部に近い空港でも夜や早朝に着けるようになるのではないか。短い距離や、垂直方向での離着陸が可能になれば、国土の狭い日本での運用もより広がるのではないか。安全性を高めれば、かつての悲劇を絶対に繰り返さないようになるのではないか。僕が在住している北九州市には、国際線も乗り入れる北九州空港という海上空港がある。航空機が身近になることで、そういった地方の空港の利用も増えると考えている。

僕にはまだ航空機に関する技術も知識もないが、基礎の基礎から学ぶためにこの高専に入学した。発展途上にある日本の航空機産業が、僕の飛び込みたいと思っている世界である。航空機は全世界を市場としているグローバルな世界だ。共通言語として英語のスキルを高めるのはもちろんのこと、この五年間の在学中に、世界中のさまざまな考え方や価値観を知りたい。柔軟な考え方は、問題提起やアイデア出しに必ず生きると思っている。

晴天に、ひこうき雲を見つけた時。低い高度で飛ぶ機体が見えた時。星の間に進むライ

トを見つけた時。見上げれば、僕は毎日自分の目標を見つめ直すことができる。自分が携わった航空機が飛ぶ日を夢見て、今はまだ机上で勉強に励もうと思う。

個人部門

読売新聞西部本社賞

学校法人鎌倉女学院

鎌倉女学院高等学校 一年

吉田 理香さん

『優』という字の意味

彼女は言った。「一緒に食べよう」「一緒に遊ぼう」と。私は彼女のまっすぐな笑顔に心を射抜かれた。そんな彼女は幼いかわいいう女の子ではなく、三〇代くらいの美しい女性だ。彼女に声を掛けられたのは出会って間もない頃のことだ。彼女はいわゆる「知的障害者」なのだ。

知的障害者は世間からどのように見られているのだろうか。「役に立たない」「動作が鈍い」という感じだろうか。未だ世間からの評価は厳しい。私もそのように考える一人だった。

この夏、学校の職業体験の一環として知的障害者支援施設で実習をすることとなった。

実習当日、担当の方から簡単な説明を受け、いざ、利用者のもとへ。

「初めまして、吉田理香です。三日間よろしく願います。」

こうして私が生きた一六年間で、最も温かく悲しい旅の幕が上がったのだ。

施設での一日の流れは以下の通りだ。午前中は作業の時間、午後はレクリエーションの時間。二〇人ほどがそこで生活している、とてもアットホームな空間だ。

午前の作業では、近くの工場と提携して洗濯槽クリーナーの組み立てをしている。私も共に作業をした。作り方が少々複雑で私が困っていると、隣に座っていた彼女が教えてくれた。ゆっくり優しく、私がきれいにできるまで丁寧にていねいに。私はそれがたまた

なく嬉しかった。

午後はダンスにカラオケ、散歩、ぬり絵などをして楽しんだ。初日はダンスだった。彼女は一步出遅れて、輪に入ることができずに右往左往していた私を見つけて、

「一緒に踊ろう。」

と言。私は王子に手を引かれるお姫様のような気分になった。

こうしてたくさんのお優しいさに包まれて、あつという間に最終日を迎えた。互いに相手のことを知り、打ち解けていった。私は彼らが人の表情や気持ちを汲み取ることに優れている、ということを知った。最後の挨拶の時、「もう会えないことが寂しい」と言ってくれたことが何よりも嬉しいご褒美だった。

やってしまった。自分が情けない。三日間を振り返ってそう感じた。私は彼らと接する時、彼らが「障害のある人」ということを忘れずにはいられなかった。そもそも彼らは「害」なのか。知的障害とは一体何なのだろう。

「知的障害」とは一八歳までの発達期に生じる知的発達の遅れにより、社会生活に適應する能力に制限がある状態のことだ。

ああ、そうか。ただの不器用さんか。知的障害をレッテルと決めつけていた自分が恥ずかしくなった。誰にだって苦手なことはある。世界中から天才だと称されるような人だって。そして彼らはたまたま苦手なことが「生活すること」だったというだけの話だ。

そうだ、彼らは役立たずなんかじゃない。足手まといでもない。本当の役立たずは彼らに勝手にレッテルを貼り付けている世間であり、私たちじゃないか。

彼らの優しさは本当の優しさだ。目まぐるしい社会に生きる私たちは、計算された優しさしかもっていない。だから世の中はこんなにも悲しいんじゃないか。

ふと、ある先生と交わした『優』という字に相應しい人にならなさい」という約束を思い出した。この約束を交わした時、私は先

生が何を伝えたいのか全く解らなかった。

しかし、今なら何となく解る。「優」という字は「人」と「憂」で成り立っており、「元気がない人に寄り添う人」という意味が込められていると思う。つまり、人を思いやれる人こそ優れた人なのではないだろうか。

私はまだ「優」という字に相応しい人ではない。けれど「それも私」と認め、自分を愛したい。私自身が幸せを感じ、その気持ちを広めたい。世界を変えるにはまず自分自身が変わらなければならない。

優しさとは何だろう。この問いの正解は多分ない。私は他人と自分自身を認め、思いやり、幸せを共有することだと思う。

グループ部門

最優秀賞

「出雲発!! 『マイクロプラスチック
問題についての考察』」

学校法人永島学園

出雲西高等学校 二年

小畑 凜久さん
飯島 章太さん
片寄虹乃葉さん
榎原 美咲さん
高橋 乃愛さん

I、日韓の高校生の交流について

出雲西高校インターアクトクラブは、部員35名で活動している。日韓の高校生との交流は、今年で10年目である。だが、日本と韓国の政治状況の悪化により、島根県内の国際交流は、すべて中止となるなか、私たち出雲西高校と島根県庁文化国際課主催の日韓交流会は唯一、実施された。この交流会が予定通り行われたことは画



日韓の海岸清掃の様子

期的であり、山陰地域のマスコミにも大きく取り上げられた。私たちは、1年前から島根県庁の方たちと綿密に打ち合わせを行い、交流会の実施に向けて計画をしていた。そして、韓国的高校生たちから「出雲西高校インターアクトクラブとの交流を毎年楽しみにしている。ぜひ、今年も行きたい」と熱意ある返答を受け、国際交流会はつつがなく実施されたのである。

II、マイクロプラスチックの調査について
この日韓の国際交流の内容は、次の5つである。

①日韓の高校生で、出雲市のひろげ浜で海岸清掃を行う。

②昼食は、出雲西高の調理室で日韓の料理を作って一緒に食べる。和やかなムードのなか親しい関係をつくるとともに、日韓の食文化を学ぶ。

(a)日本料理は、手巻き寿司、冷やしうどん
(b)韓国料理は、チヂミ、トッポギ

③出雲西高の会議室で海岸ゴミの討論会を行う。A～Eの班に分け、それぞれの意見を班長がまとめ、最後に発表する。

④日本・韓国の歌やラップ、ダンスを披露しパフォーマンスをする。

⑤最後に記念撮影を行い、メール交換をして終了する。

この交流会を続けていくうちに、韓国的高校生たちは、韓国のゴミが多いことを痛感し、韓国に帰って海や川にゴミを捨てないキャンペーンをするように



日韓の調理の様子

になった。また、マスコミにゴミの問題を話してくるようになるようになった。高校生の中から進んで韓国で海岸清掃をする生徒も出てきたという。その効果があったのか、調査してみると、最近では10%程度、韓国のゴミが減っていることが判明した。

今年も日韓の討論会のときに、問題に上がったのは、マイクロプラスチックの問題である。調べてみると、世界の海に現在、存在するマイクロプラスチックゴミは合計で1億5千万トン、そこへ少なくとも年間800万トン（重さにしてジャンボジェット機5万機分に相当）が流出すると推定されている。プラスチックが海

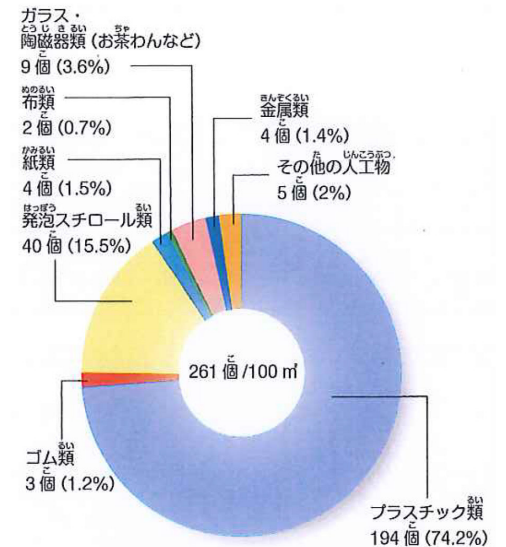
名	海洋で検出された合成有機化学物質	主要な健康影響
アルジカルブ(デミク)	神経系への高い毒性	
ベンゼン	染色体損傷、貧血、血液疾患、および白血病	
四塩化炭素	癌；肝臓、腎臓、肺、および中枢神経系損傷	
クロロホルム	肝臓および腎臓の損傷；疑わしい癌	
ダイオキシン	皮膚疾患、癌、および遺伝子変異	
エチレンジプロマイド(FDB)	癌と雄性不妊	
ポリ塩化ビフェニル(PCB)	肝臓、腎臓、および肺の損傷	
トリクロロエチレン(TCE)	高濃度では、肝臓および腎臓の損傷、中枢神経系の鬱病、皮膚の問題、および癌および突然変異の疑いがある	
塩化ビニル	肝臓、腎臓、および肺の損傷；肺、心血管および胃腸の問題；癌と疑わしい突然変異	

図表Ⅲ マイクロプラスチックの海洋汚染

品物	年数
プラスチックボトル	450年
アルミ缶	80~200年
フイ(発泡スチロール)	80年
ブリキ缶	50~80年
スチロールのカップ	50年
プラスチックの袋	10~20年
りんごの芯	2か月
オレンジやバナナの皮	2~5週間

出典：The Ocean Conservancy

図表Ⅱ ゴミが分解されるまでの時間



図表Ⅰ 100㎡あたりの漂着ゴミ平均個数 (10年間(2006~2015年)平均)

ラにされマイクロプラスチックになるのだ。これを魚や海亀、鯨などが食べる。特に魚は間違えて食べ、食物連鎖の過程でプラスチックの有害物質が濃縮され、「図表Ⅲ」のように人類に神経系の病気、内臓疾患、ガンなどの病気



マイクロプラスチック調査の様子



日韓の歌や踊り (パフォーマンス)



日韓の討論会

「図表Ⅰ」を見ると、海洋ゴミの中でプラスチック類が74・1%も占め圧倒的な割合である。「図表Ⅱ」のゴミが分解されるまでの時間では、プラスチックボトルは450年もかかる。またマイクロプラスチックになるのは、薄くて繊細なレジ袋やペットボトルなどである。この2つが太陽光や紫外線、雨風、海水の塩分によりバラバラに捨てられると5mm以下に小さくなる。これがマイクロプラスチックである。世界の海には約5兆個のマイクロプラスチックが漂っているのがある。



山陰でいちばん美しい、稲佐の浜（出雲大社の聖地）

面でも関係している。私たちが誌面でプラスチックの新聞社である山陰中央新報社にお願いして、プラスチックゴミの問題を一面にして取り上げてもらったことも関係している。私たちが誌面でプラスチック

III、マイクロプラスチック調査の結果
この「図表A」が鳥根県のマイクロプラスチック調査、「図表B」が鳥取県の調査結果である。鳥根県は、2018年と2019年の2年間調査している箇所が多い。結果としては、令和になり山陰地方は台風や災害も減り、マイクロプラスチックの打ち上げられる量が減ったのではないと思われる。②の多伎海岸が増加した以外は、全体的に少なくなってきた。

を引き起こす懸念がある。また2050年には、海洋マイクロプラスチックゴミは海の魚の量を上回るとまていわれている。そこで私たちは、鳥根県と鳥取県の13カ所で、マイクロプラスチック調査を行った。縦20cm横20cmの正方形の区画で深さ2・5cmを設定し、マイクロプラスチックの数を調べた。



マイクロプラスチックの数



マイクロプラスチック調査の区画（縦20cm、横20cm、高さ2.5cm）



ゴミの少ない賀露港の海岸

た。私たちがマ



ゴミの少ない鳥取港の海岸

活動を大いに認められ、講演会に招かれたり、発表したりする機会も増えた。テレビ、ラジオにも出演し、私たちの訴えや主張することも理解してもらえた。そして、⑨湊原海岸⑩くにびき海岸の住民の方々が、「海岸ゴミが多く、またプラスチックのゴミが、これほど多いのは恥ずかしい」ということで海岸清掃を3度もするようになった。私たちがマ

ク問題が人類に及ぼす悪影響を説明し、新聞を読んだ方たちから大きな反響があった。これを機に私たちの

マイクロプラスチック調査結果

図表B 鳥取県（マイクロプラスチック数）

場 所	2018年	2019年
①境港海岸	12	14
②錦海海岸		8
③皆生海岸		19
④淀江海岸		18
⑤中山海岸		22
⑥赤碕海岸		24
⑦琴浦海岸		34
⑧北栄海岸		21
⑨羽合海岸		15
⑩気高海岸		18
⑪白兎海岸		16
⑫賀露海岸		9
⑬鳥取港		8

マイクロプラスチック調査結果

図表A 鳥根県（マイクロプラスチック数）

場 所	2018年	2019年
①稲佐の浜	8	6
②多伎海岸	11	13
③波根海岸	32	28
④五十猛海岸	25	22
⑤美保関海岸	47	28
⑥日御碕海岸	49	29
⑦北浜海岸		18
⑧なぎさ公園	7	4
⑨湊原海岸	59	32
⑩くにびき海岸	62	33
⑪波子海岸		11
⑫大朝海岸		14
⑬三隅海岸		8



ゴミの多い琴浦海岸

スコミに訴えたことは良い影響を及ぼしたと思われる。これからも、悪いことを見逃すことなく、正しいことを堂々と主張していききたいと思う。

「図表B」鳥

取県も、13カ所調査を行い、⑦の琴浦海岸が最もプラスチックゴミが多かった。また⑤中山海岸⑥赤碕海岸などが湾部になっており、ゴミのたまりやすい海岸になっていた。海岸ゴミの量も多いので、今後はぜひ地元の方たちで清掃活動を頻繁にしていだきたいと思う。そうすれば島根県の⑨湊原海岸や⑩くびき海岸のように改善するだろう。私たちも清掃活動に今後とも努力していきたいと思っている。

IV、プラスチックの削減を!!

海へのプラスチックの流出を減らすためには、海岸のプラスチックゴミの清掃活動は重要であると思う。調査の結果①稲佐の浜6個③三隅海岸8個と優良な海岸であった。また鳥取県の⑫賀露海岸9個⑬鳥取港8個と、この海岸も清掃活動がきちんと成されており優良な海岸であった。この結果から見ると地域の方たちが自分たちの海岸を守ろうと努力している海岸は、清掃が行われ美しい海岸であることがわかった。さらに海に流入するプラスチックは、陸上に住む私たちの生活の中から出てくるもので、日常的にプラスチックを減らしていく努力が必要である。

そのため、私たちインターアクトクラブでは、プラスチック排出ゼロ社会を目指し、事業者、公的団体、消費者がそれぞれの立場で取り組みべきことを考えた。

A. 事業者(企業・商店)

(1) 過剰サービスの見直し

(a) レジ袋無料配布をしない。

(b) 過剰包装をしない。(二重包装、個包装・容器、宅配過剰包装・梱包など)

(2) 提供方法の改善

(a) 量り売りの導入・拡大。(自動化の量り売りも登場)

(3) 代替素材への変更

(a) 容器包装素材を植物由来など生分解性のものへ変更。

(b) 商品などで紙袋の採用。

(4) リサイクル資材の利用

(a) 現場で発生する廃プラスチックを資材原料に循環利用。

(5) 革新的技術の開発

(a) プラスチック・リサイクル等の領域での革新的技術開発。

B. 政府・自治体、研究機関、NGO

(1) 政府・自治体

(a) プラスチックゴミに関する国家戦略や規則などの枠組み策定。

(2) 研究機関

(a) 研究技術開発で企業と連携。

(3) NGO

(a) 海岸漂着ゴミの一斉清掃など市民に呼びかけて協働。

C. 消費者(市民)

(1) 使い捨てプラスチックの削減

(a) レジ袋をもらわない。(マイバッグを持参)

(b) 使い捨てフォークやストローの使用を控える。

(c) 過剰包装は断る。

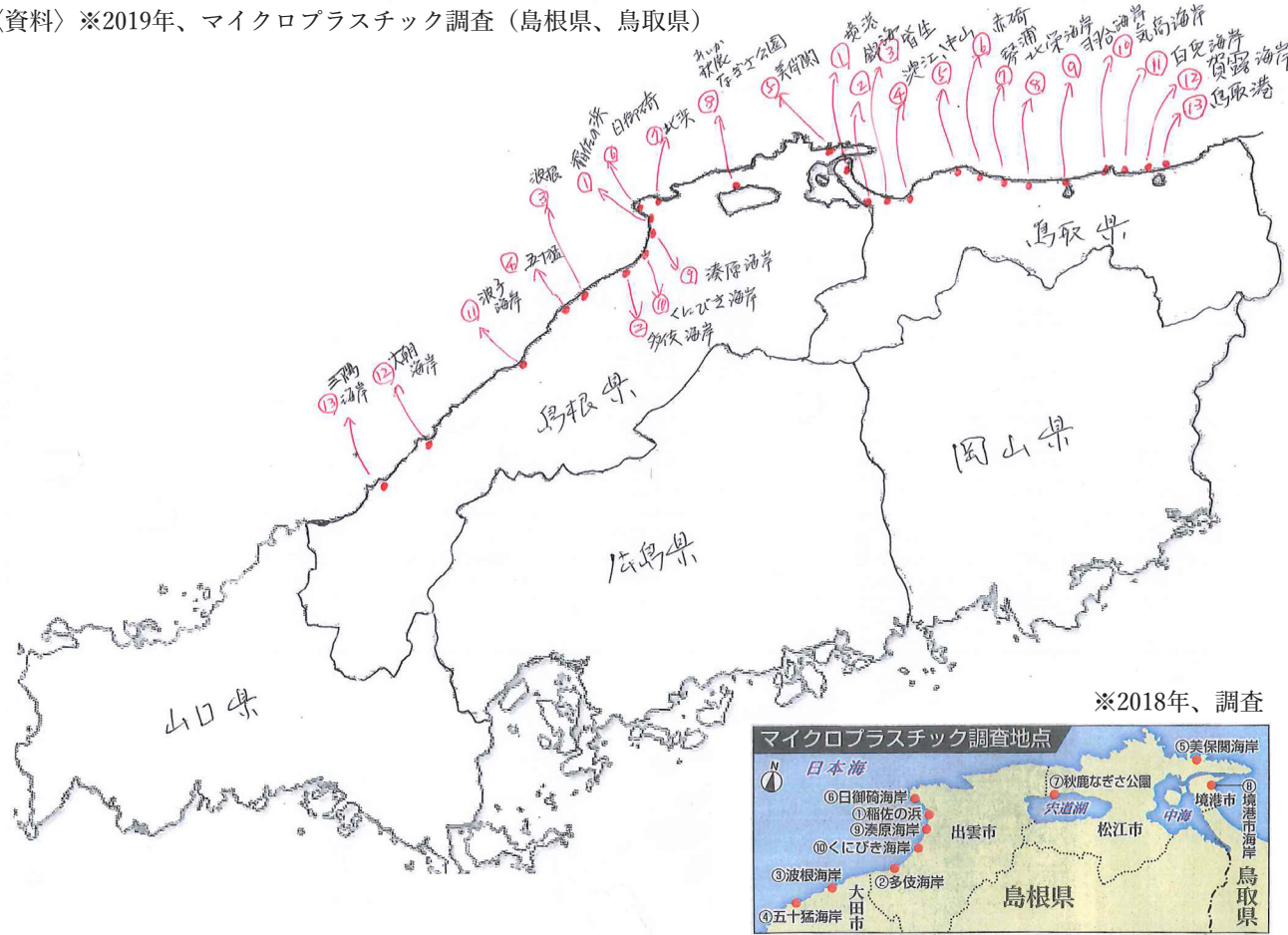
(d) 量り売りや、詰め替え商品を利用する。

(e) 修理して繰り返し使う。

(f) 中古市などに出す。

(g) 分別、資源回収を徹底する。

〈資料〉※2019年、マイクロプラスチック調査（島根県、鳥取県）



(2) 廃プラスチックの発生阻止

- (a) ポイ捨て、不法投棄をしない。
- (b) 海岸や街の清掃活動を行う。

A. 事業者（企業・商店）とB. 政府・自治体、研究機関、NGO、C. 消費者（市民）のタイアップが最も重要であると考えられる。しかし、日本政府のプラスチックゴミへの対応は大幅に遅れているのが現状である。

世界で無料レジ袋禁止の国は83カ国になり、ストローなど特定の使い捨て製品の使用を禁止している国も27カ国もあるのに、日本

は世界有数の使い捨てプラスチック消費国なのである。また世界の動きは、今や脱炭素社会、脱プラスチック社会である。

しかし、日本は依然として低炭素社会、低プラスチック社会という表現をして、ごまかしているのに過ぎないと思う。もっと地球温暖化問題やプラスチックゴミ問題に真剣に取り組まなければ、国際社会の中では生き残っていけないのではないだろうか。宮沢賢治は、彼の著書の中で「人類すべてが幸福にならなければ、私個人の幸福はない」と言っている。プラスチック問題は、今や、人類すべての問題。人類の危機となっているのだ。

私たちは宮沢賢治の言葉を念頭におき、出雲発!!「マイクロプラスチック問題についての考察」を島根県、鳥取県に広げ、さらに全国に展開する覚悟である。現在、岡山県のインターアクトクラブの高校にも協働の了解を得ている。着々と規模を拡大していく所存である。

その他、島根県内のコミュニティセンターでの講演、島根県庁、出雲市役所などともコラボし、プラスチック問題を出雲の地から世界に発信していくよう努力の歩を進めたい。

グループ部門

優秀賞

「人間という複雑な存在」AIと人間の間」

鹿児島県立錦江湾高等学校 一年

瀬戸山 翔さん
益 広大さん
畠中 智也さん
帖地 桃海さん
鶴崎みゆきさん
堂園 栞生さん

1 はじめに

私たちは今、2年生の進級に向けて文理選択を控えている。将来の進路について考える学校の講話などでは、必ずと言っていいほど「AIの進出」が話題になる。AI化した未来の社会では、現在の職業のうちの多くがAIに取って代わられると言われているからだ。

この速いスピードで進出するAI化と私たちは、どのように距離を取り、どのように関係を保っていくべきか、考えてみたい。

2 アンケート①

まず、私たちがどれほどAIを意識しているか、クラスメートを対象にしていくつかのアンケートをとってみた。

「将来になりたい職業がありますか。」

「ある」と答えた人：63%

「自分がなりたい職業の50年後は、AIが進出していると思いますか。」

「進出している」と答えた人：40%

「自分の将来の職業を考える時、AI化した社会や職業の存在を考えますか。」

「考える」と答えた人：35%

これらの結果から、少なからず「AIの存在を無視することはできない」と考えていることがわかる。

3 悲しい事故

私たちの学校の近くに、コアラの飼育で有名な平川動物公園がある。実はそこで、昨年10月、ホワイトタイガーの檻の中で飼育員が死亡する事故が起きた。小さい頃から親しみのある動物園で起きたこの悲惨な事故は、私たちにとって大変ショックな出来事だった。原因は不明とされているが、発生した時間帯は閉園後の清掃の時間だったそうだ。新聞紙上では、「安全対策」を問う記事が出た。そして今年8月、多摩動物公園でも、サイに襲われて飼育員が亡くなる事故が起きた。やはり原因は不明とされているが、現場の近くにはサイの皮膚に塗る薬が落ちていたということだ。

動物を愛護していた命を失ってしまったこんな悲しい事故こそ、AI化によって防ぎことができないだろうか。私たちは「AI化した平川動物公園」を想定することで、未来の人間社会を予測してみることにした。

4 平川AI動物公園

現在の平川動物公園では、入口前の券売機に並んで入園券を購入し、ポップでカラフルな入口を通ってスタッフさんによる入園チェックを受ける。いつでも入り口は混雑していて、楽しくにぎわっている場所である。この場所からメンバーで想像してみた。

入園券購入はキャッシュレス。入園受付も人はいない。混雑もなくスマートに入園すると、自動音声で「ようこそ平川動物公園へ」と声をかけられる。広い動物園内を走るバスは無人化して自動運転。餌やりや動物の身体チェック、清掃は人間型ロボットが行う。そして園内の動物の観察や人の流れなど、すべ

てをAIが把握し、管理する。

でも、AI化で無人化した園内に、多くの人間型ロボットが清掃して回ったりする姿を見ると、もしこのロボットに不具合が起きたら誰が対処してくれるのかなど不安な気持ちになりそうだ。こうして具体的に想像してみたらAI動物園は、あまりにも無機質で怖い。平川動物公園の「県民に親しまれる」という側面は欠けてしまうのではないだろうか。

動物園は楽しい場所であるはずだ。普段見ることができない動物を見たり、声を聞いたり…。かわいい動物とのふれあい広場では、飼育員が動物と心を通わせている様子を見ることもできる。AIには心を通わせることはできない。

5 AIの有効性／人間かAIか

「AI化した平川動物公園」を具体的に想定してみると、あまりにも無機質に感じられるが、その一方では、人的ミスによる事故は防止され、尊い命が守られることが期待できる。平川動物公園のホワイトタイガーの事故や多摩動物公園のサイの事故。先進技術はまさにこうした尊い命の事故防止に利用されるべきだ。

命や心を持つ人間と、無機質さを感じるAI。この間には「境界線」が存在するようだ。ここであらためて人間とはどのような存在なのか、考えたい。

6 アンケート② ※3位は同率

「将来AI化してほしくない職業は何ですか。また、その理由を教えてください。」

1位：医師・看護師 「人間の方が気持ちわかってもらえる気がするから。」

2位：芸人 「AIの芸人がニュースで出ていたが、面白くなかったから。」

3位：教師 「人間は人間に育ててほしいから。」

3位：職人 「長く続いてきた伝統文化を

いつまでも伝えてほしいから。」

以上のように、「理解」「共感」が鍵になる職業が並んだ。「人間の心・気持ちはAIには理解しきれない複雑なものだ」と考えていることがわかる。その人の個性や周囲との人間関係、刻々と変化する状況への対応など、「複雑」である人間のことは人間同士が最も理解し、共感できると感じているようだ。

7 人間存在の複雑さ

国語の授業の中で、私たちは日本の文化と日本人の感性に関する文章を読み、他文化との違いを比較して考えた。その時、こんなやりとりがあった。

先生「日本以外の国に長期間生活した人はいますか。」

益「中国。今でも毎年のように中国に行っています。」

堂園「シンガポールに幼い頃住んでいました。」

先生「日本との違いで覚えていることはありますか。」

堂園「ちり一つ落ちていないきれいな場所だったことです。」

そこで、この国語の授業をきっかけに、中国とシンガポールに在住経験のある二人の経験をともに、私たちはさらに、食文化について話した。たとえば日本食の代表的なものとしてお寿司や天ぷらがある。

鶴崎「私は食べ物が好き嫌いが結構多いけど、日本食の中で味噌汁は絶対になくなつてほしくない料理の一つだな。」

そして、中国やシンガポールを離れた今でも二人が無性に食べたくなる料理については、堂園「私はカオマンガイ。ごはんに蒸した鶏肉とチリソースがのっついて、今でも時々母が作ってくれるよ。」

益「僕は担々麺。中国にすごくおいしいお店があって、小さい頃よく行っていた。そのおいしさと言ったら毎日で

も食べたいくらいだよ。」

食の好みは、個人の好き嫌いなどで異なるものだが、他国での生活を経験しているこの二人の食の好みは、日本で生まれ育ってきた私たちには決して持つことができない感覚だ。

私たちは国語の授業を通して、「日本人は他国にはない文化と感性を共通して持っている」と学んだ。しかし、日本人だからといって、まったく画一的なものとは限らない。たとえばこの二人は、同じ日本人であっても明らかに他のメンバーと異なる経験を持ち、感覚や文化を手に入れている。そして私たちにはないそのような感覚を持っていることは、とてももうらやましいことだと思っている。

8 文化

私たちの住む鹿児島には「あくまき」という食べ物がある。薩摩藩だった昔から保存食として伝わっているそうだが、現在でも鹿児島県民は、きなこ砂糖などをまぶして和菓子のように食している。こうした食文化は「この土地に生きる人間」が生み出し、伝えてきたものだ。人間の英知そのものだ。歌舞伎、相撲、茶道……日本の文化といわれるものも、日本人がその必要性から生み出し、育て、継承して、今まで伝わってきた。

AI化だけでなくグローバル化もしている現在、世界中の人々が時間差を感じずに同じ情報を得ることができていて、他国の文化も画像で飛び交い、モノの輸送も人の移動も簡単な時代である。カオマンガイも自宅で作れるし、担々麺も世界中のお店で食べられる。作り方も材料もネットを利用して手に入るから、食べたいものを食べたい時に食べられる。だから、その土地固有の文化や伝統をその人たちの中で守り、長く伝えていこうという意識を持つのは難しい。

しかし、その土地にしかない環境や歴史の中に生きる存在である私たちには、たとえば「食文化」や食の好みは変えようと思っても

なかなか変えられないものだ。こう考えると、やはり私たちは、AIにとっては理解しにくい複雑な存在だろう。個性や文化、感性、考える力も個々に異なる「複雑な存在」だ。この私たち6人だけでもこれだけ異なる存在なのだから。

9 まとめ

私たちの将来はAI抜きには考えられないが、AIが人間という複雑な存在に完全に対応できるとも考えられない。人間は人間同士でこそ互いを理解し、共感することができ、そうすることでこそ人生を楽しみ、心の充実感を得るのだ。一方、AIという文化は、たとえば悲しい事故を未然に防ぐ「英知」として取り込むべきだ。AIを神格化するような間違いを起こさないように、AIと人間の間の境界線を明確にするように、人間は努力を続けなければならない。私たち人間は、AIとは異なる「複雑な存在」として、正々堂々と人間らしく生きていくべきではないだろうか。

グループ部門

読売新聞西部本社賞

「観光業から見た私たちの街の現状と今後」

福岡県立三池高等学校 一年

柴田 晴輝さん
三浦 太暉さん
山下 一平さん
吉原 彩衣さん
原田 百華さん

3. 目標の理由

大牟田を活性化させるためには、どのような解決策が必要なのかと知りたかったから。大牟田には世界遺産にも登録されているところもあり、大牟田の魅力をもっと発見したいから。

現状分析

私たちは、大牟田がこの目標を達成するためにはどうしたらいいか話し合いをしました。その結果、最終的に三つの案が出ました。延命動物園（大牟田市動物園）、大蛇山、世界遺産です。

1. 延命動物園

「動物福祉」を進める大牟田市動物園のさらなる魅力向上

大牟田市動物園は延命公園の南端にあり、戦前の1941年に開園しました。来場者は92年度に40万を超えたのをピークに、2004年度には13万人台まで減少し、閉園が検討されました。しかし、存続を求める市民運動が起こり、2006年度に指定管理者制度を導入したことを契機に、来園者数が増加に転じ、現在では24〜25万人程度が毎年訪れる場所となっています。

それを実現した大きな理由が、2016年に「エンリッチメント大賞」を受賞した「動物福祉」の考え方です。大牟田市動物園では、「動物福祉を伝える動物園」として集客につなげています。具体的には、「環境エンリッチメント」と呼ばれる取り組みです。動物園の飼育環境は、単調で刺激がないことから、繁殖行動ができない、元気をなくす、異常行動を起こすなどさまざまな影響が出ています。これを防ぐために餌を隠したり、食べにくい場所につるしたりして、環境を変化させる工夫をしています。また、動物の健康を保つために必要なケアをする際、動物に負担をかけないように、麻酔を使わない「無麻酔

背景

1. SDGsとは

急激に進行する気候変動、紛争や飢餓、経済の格差、人権の侵害や差別など、私たちは今、さまざまな問題に直面しています。それをそのまま放置していたら、この地球を次世代に引き継ぐことができなくなるかもしれない。そんな危機感から、世界中で政府・国連・市民社会・企業・研究者が性別や年代の垣根を越えて3年間も話し合いを重ね、2030年までに世界が達成すべき17の目標、SDGsを定めました。

2015年9月に開かれた「国連 持続的な開発サミット」では、すべての加盟国がこれに合意し、持続可能な社会の実現に「地球上の誰一人として取り残すことはない」と誓ったのです。

2. SDGsの目標(8・5)を参考に

設定した私たちの目標

2030年までに、雇用創出、地方の文化復興、産品販促につながる持続可能な観光業を促進するための政策を立案し実施する。

採血」のトレーニングを行っています。

これらの取り組みは、積極的に国内外へと発信され、海外の動物園からの注目が高く、大牟田市動物園の取り組みを参考にする動きもあります。動物への関心を広げ、動物園だけでなく、地域に暮らす動物たちのことを考えるきっかけづくりを目指しています。

また年内、大牟田市動物園を舞台とした「いのちスケッチ」の全国上映が予定されています。

動物園集客増加案

大牟田市動物園はTVで紹介されたこともあり、入場数は現在かなり増えています。今後は映画の影響もあり、さらに増加するのではないかと考えています。しかしそれは、永遠に続くわけではありません。大牟田市動物園は片平山山中に建設され、園内の起伏が激しいです。そのため、大規模な土木工事を行わない限り、用地の確保は困難を極めると思います。入場者はイベントで集める他はないと思います。

大牟田市動物園は世界でも珍しい取り組みを多く行っており、その一部は来園者にも公開されています。私たちもライオンに自主的にえさを探させるイベントを見たことがありますが、大迫力でとても見ごたえがありました。世界的に珍しいイベントとしてもっと前面に押し出し、現代らしくSNSや動画配信サイトで今以上に宣伝を続けられ、入園者数を維持することも可能だと考えます。

2. 大蛇山

大牟田市最大のイベントであるおおむた「大蛇山」まつりは、毎年7月の「海の日」の前後から8月上旬にかけて開催されます。江戸時代に起源をたどる「大蛇山祇園祭」、大牟田市商工会の「炭都まつり」、三池港周辺での「港まつり」をひとつにあわせて昭和36年（1961年）に始まった、歴史と伝統

ある祭りです。まつりの主役である「大蛇山」は、「大正町おまつり広場行事」の2日間登場します。

大牟田以外での大蛇山

平成24年5月26日 東日本大震災復興支援
福島フェスティバルパレード出展（会津若松）

平成25年6月1日 東日本大震災復興支援
出展（郡山）

平成26年11月23日 東日本大震災復興支援
出展（須賀川）

ハワイと大蛇山

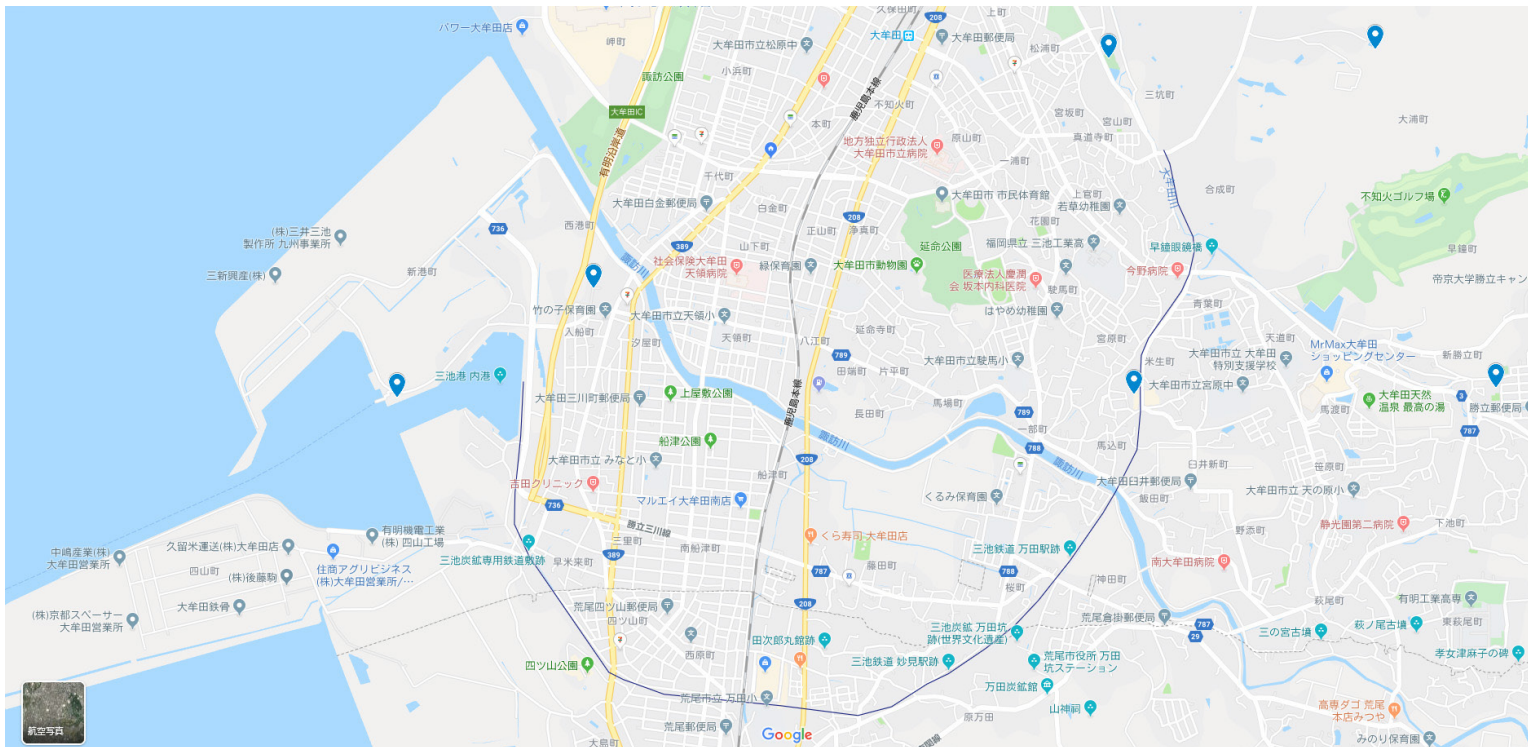
ハワイ州と姉妹県州関係をもつ大牟田大蛇山が2008年より「ホノルル大蛇山」と名前を変え、今年もホノルル・フェスティバルのグランドパレードを華やかに飾ります。また、日本とハワイの架け橋のようなイベントで、毎年目玉となるグランドパレードのラストを飾るのがなんと大牟田の大蛇祭り！

ホノルルの大蛇山の山車は大牟田から譲り受けたもので、本物の大蛇山の迫力を実感してもらいたいという大牟田の皆さんの強い気持ちで込められています。また、ハワイの子供たちにも大蛇山に親しんでもらおうと、2009年よりチビッコ大蛇山が加わりました。ホノルル大蛇山は、地元ホノルルのボランティアの人たちに支えられ、そのボランティアの数は年々増えています。

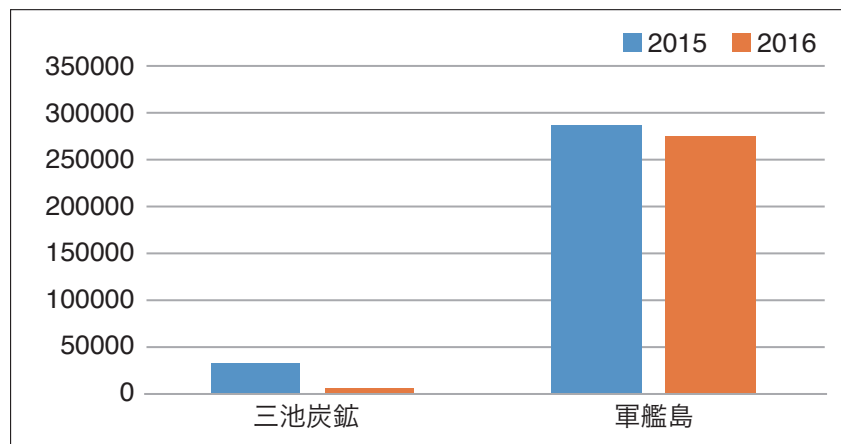
3. 世界遺産

大牟田市の世界遺産は、三池港、宮原抗、三池炭鉱専用鉄道跡地の三つです。これらを含め、その他遺産は大牟田市中に散らばっており、アクセスが不便な状態にあります。その上、同時期に登録された炭鉱施設である端島炭鉱（軍艦島）とは異なり、地形的なアドバンテージも少なくインパクトに欠けています。宮原抗では昔の用地のほとんどが民間に売却され、新しい施設の設置はかなり厳しい

そのため私たちは、関連遺産へのアクセスの利便性を向上し、同時に観光客をひきつけるために、炭鉱鉄道の一部区間復活を考えました。これなら現在残っている用地を再整備すればいいし、貴重な炭鉱鉄道の機関車を動態保存することも可能です。第三セクターもしくは大牟田市、荒尾市の共同運営で炭鉱鉄



世界遺産と関連施設地図



軍艦島との訪問者数比較

道を観光鉄道として復活させるのがよいと思います。

これまでに紹介した大牟田の三つの観光資源に共通して言えるのは、個々の魅力は十分にあるが、現状では相補性、将来性が望めないということです。

観光業で利益を出すために最も効果的なのは、観光客に宿泊してもらうことです。現状ではどの観光資源をとっても日帰りで十分です。大蛇山祭りに関しては期間が短いので考慮に入れないとして、現状、大牟田市動物園と三池炭鉱の両方に行っても日帰り、もしくはほかの都市の観光地に行く時間はあるだろうし、どちらも行く人はあまり多くないでしょう。

両方行きたいと思わせる今以上の魅力と、観光客を宿泊させるほどの時間を掛ける価値がある、新たな観光資源を考えなければならな

いと思います。

また、前述した将来性についても考える必要があります。大牟田市動物園はTVで紹介されたために現状かなりの人気があり、今後公開される映画のこともあって数年は人気を保てるでしょう。しかしその後も、常に観光客の目を引き付けるために常に進化を続けていかなければ、いずれ観光客は減少していくでしょう。

三池炭鉱関連遺産群に関しては、他の世界遺産と比較しても非常に観光客が少なく、早急に対策を打たなければ世界遺産に登録された意味もなく、寂れていくのをただ待つのみとなってしまいます。

大蛇山については、参加者数もやや増加傾向にあると思われ、今後一層の発展が期待できますが、開催日程が二日間だけなので、主力の観光資源とするのは厳しいです。どちらかといえば、前後に開催される港まつりなどに力を入れて、観光客が行きたいと思える祭りを一日でも多くすることが課題だと思います。

前述の提案と合わせて、私たち若者にできることは、自分たちも大牟田地域に住む住民の一人だということを自覚して、自分たちが大牟田に何ができるのか考え、SNSで大牟田のことを発信するなど、行動していくことです。「若者の意見なんてどうせ聞いてもらえない」などと思わず、改善してもらいたいこと、こうしたほうが良いのではと思ったことなどを積極的に意見することが大事だと思います。

これからの社会の担い手として、少しずつそう思える人が増えていくことを願います。

出典

- ・ラブハワイ九州ホームページ
- ・長崎市ホームページ
- ・大牟田市ホームページ
- ・SDGs特集号（廣告社株式会社）